序盤(10分)

1. 背景：

価値観が多様化している社会で人の評価プロセスを知ることは重要になってきている。

1. 評価グリッド法の概要：

評価を解明する手法の一つに評価グリッド法がある。

評価グリッド法を用いて作成されるのが題名にもあった評価構造である。

３，評価グリッド法のやり方：

刺激要素を選んで、順位づけし、良い理由を聞く、上位下位概念聞く、繰り返し終了

1. 評価グリッド法の結果である評価構造：

　評価構造はネッワーク図で表される

1. 評価構造の分析

　評価構造の分析には色々ある、分析システムも増えてきた

　問題→同時にサイズの大きい評価構造が増え視認性が低下してきた

1. 現在の問題

　ノード数が増えると重要単語、その関係性が分かりづらい

1. 提案手法

　単語の関係性を考慮した可視化を行う。

中盤(10分)

1. Word Cloud可視化までのプロセス説明

　5段階に分かれてて…

1. 評価構造作成

　E-Gridを用いて作成した評価構造データを使用

1. 距離行列作成１

　３つの行列の積で計算される

1. 距離行列作成２

１個目の行列(出現行列)説明

1. 距離行列作成３

２個目の行列(ノード距離行列)説明

1. 距離行列作成４

３個目の行列(重さ行列)説明

1. 次元削減

　MDSを用いて次元削減

1. Word Cloud可視化

　Word Cloudの良い所

９，重複阻止

　どんな美的要件を考慮した計算か

１０，重複阻止２

　目的関数説明

１１，重複阻止３

　制約条件説明

１２，プロセス振り返り

終盤(10分)

1. 評価実験

比較実験とケーススタディを行った。

1. 比較実験する前の準備

評価構造分析に求められている要素の説明

1. 比較実験の内容説明

求められている要素を考慮して3つの実験を行った

４，比較実験語のアンケ

　　アンケ内容説明

1. 被験者、データ説明

どんなデータを使用したか、被験者は何人か

1. 結果表示１
2. 結果表示２
3. 結果表示３
4. ケーススタディ説明

内容説明

１０、提案システムの説明

　　システムの操作説明

１１，システムの有用性説明

１２，まとめ

１３，今後の課題